

令和元年度  
日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会  
(共催：物理探査学会)  
研究発表会 プログラム

日時：令和元年6月14日(金) 14:30～17:30

会場：土木研究所寒地土木研究所 1階講堂 札幌市豊平区平岸1条3丁目1番34号

14:30～14:35 開会挨拶

14:35～15:20

1. 有珠火山1822年噴火の初期に発生した火砕流について

堺 幾久子(株式会社サッポロ・エンジニアーズ)

2. アパタイト化学組成に基づく新しいテフロクロロジー

桑原 里(道総研地質研究所), 高嶋 礼詩(東北大学)

3. 先進ボーリング調査による地山分類の効果と分類指標に関する一考察

岡崎 健治・倉橋 稔幸・大日向 昭彦・山崎 秀策(寒地土木研究所), 亀村 勝美(深田地質研究所),  
村山 秀幸・丹羽 廣海・新井 智之(フジタ)

15:20～15:30 休憩

15:30～16:30

4. 2018年胆振東部地震に関わる第四紀学的諸問題：地形面区分、崩壊した斜面堆積物の地域差および活構造など

岡 孝雄(株式会社北海道技術コンサルタント)

5. 北海道胆振東部地震の平面すべり機構に関する一考察

若松 幹男(山の手博物館)

6. 北海道胆振東部地震により二風谷ダム貯水池近傍斜面で発生した岩盤すべり

富岡 敬・人見 美哉・田近 淳・安元 和己・戸田 英明・田子 義章・森本 直矢(株式会社ドーコン)

7. 2018年北海道胆振東部地震時の斜面崩壊における地下水の役割

池田 光良・細矢 卓志(中央開発株式会社), 阪田 義隆(北大工学院)

16:30～16:40 休憩

16:40～17:25

8. 電気探査における電流曲線を用いた地下水開発 北海道渡島半島における更新世瀬棚層の例

田中 真二・加藤 孝幸(アースサイエンス株式会社), 布川 昭一・東海林 博(有限会社ハーデスサーブ),  
西谷 昭男(西谷試錐工業株式会社), 高橋 輝一郎・吉田 俊昭(有限会社ハーデスサーブ),  
古田 良実(株式会社八雲TMRセンター), 小栗 隆(小栗牧場)

9. 微動アレイ探査による2次元・3次元S速度構造の推定

橋本 裕司・小西 千里(応用地質株式会社), 仁木 宏・岸本 直文・山口 覚・  
三田村 宗樹(大阪市立大学大学院), 市川 創(大阪府教育庁), 森 毅(大阪市経済戦略局)

10. 物理探査法の応用地質学分野への適用例

鈴木 浩一(北海道大学)

17:25～17:30 閉会挨拶

17:30～19:00 意見交換会(優秀講演者表彰) 会費：2,000円